

MOBOTIX JAPAN

2020年10月29日

MOBOTIX JAPAN
株式会社K.J.フェロー

231-0011
横浜市中区太田町6-85
RK Cube 4F
www.mobotix-japan.net
www.kjfellow.com

MOBOTIX NDAA(米国国防授權法)準拠に関するお知らせ

MOBOTIXカメラ及びアクセサリに搭載されている部品等の原産国に関しまして、多くのお問い合わせをいただいておりますが、この度、MOBOTIX AGよりNDAA(米国国防授權法)準拠に関しまして、情報が発信されましたので、お知らせいたします。

以下、MOBOTIX AGからの情報です。

MOBOTIX AGは、すべてのMOBOTIX製品およびシステムが米国国防授權法(NDAA)の要件に準拠し、100%NDAAに準拠していることを確認し、誇らしく思います。

NDAA第889条には、スパイ攻撃やハッカー攻撃に対する保護を強化するための新しい一連のガイドラインが含まれています。さらに、通信目的で使用されるコンポーネント(セキュリティ製品を含む)を製造している中国の企業が指定されていますが、これらはもはや受け入れられなくなりました。本件に関して明確にするために、MOBOTIXは中国企業からのSoC(システムオンチップ)またはソフトウェアを処理できるその他のコンポーネントを使用していません。さらに、OEMパートナー(相手先ブランド供給)から供給されるMOBOTIX製品も、100%NDAAに準拠しています。MOBOTIXは、当社の製品とシステムに中国のコンポーネントが含まれていないことを明確に示した3段階の自己認証プロセスを表示しています。NDAA適合書は、MOBOTIX製品を購入してインストールする主要な統合パートナーだけでなく、いくつかの米国の機関にもすでに伝達されています。



MOBOTIX AGのCTOであるHartmut Spraveは次のように述べています。「MOBOTIXテクノロジーは、品質の観点からだけでなく、データとサイバーセキュリティの観点からも世界のリーダーです。私たち自身のデザインを通して、リスクのあるサプライヤーのコンポーネントを、顧客やパートナーのセキュリティを保護するために使用しない事は、常に非常に重要です。」 グローバリゼーションの時代でさえ、国家安全保障上の利益が国際貿易政策を支配し続けています。個々の国および国のグループが投資を管理し、防衛および安全保障調達の規則を確立します。コンプライアンスガイドラインは、グローバルサプライチェーンに沿ったリスクを効果的に特定して最小化するように設計されています。これらのガイドラインは、NDAAの真の目的と深く根付いた規範を反映しています。

以上

お問い合わせ先：MOBOTIX JAPAN（モボティックス ジャパン）

e-mail：cam-sales@mobotix.jp

www.mobotix-japan.net

MOBOTIX AGについて：

MOBOTIX AGは、1999年にドイツ・カイザースラウテルンで、Dr.Ralf Hinkelにより創業された、ネットワークカメラ・システム開発製造会社です。全てのMOBOTIXネットワークカメラは、ドイツ本社工場で製造されています。

www.mobotix.com

MOBOTIX JAPANについて：

MOBOTIX JAPANは、MOBOTIX AGの日本パートナーである株式会社K.J.フェローにより運営されています。

株式会社K.J.フェローは、MOBOTIXの日本輸入販売代理店です。

www.mobotix-japan.net

K.J.フェローについて：

株式会社K.J.フェローは、2003年10月に創業。ネットワークカメラ、セキュリティ関連の海外製品の輸入販売、コンサルティング専門のIT&セキュリティ技術商社です。MOBOTIX JAPANを運営し、その他、MOBOTIXのテクノロジーパートナーである、AI画像解析のIpsotek、NVRのWavestoreの代理店として日本市場開拓を担っています。

www.kjfellow.com